

日本原電は今年の秋、東海第二原発の20年延長申請を出そうとしています

2017年3月31日、日本原電は平成29年度の経営基本計画を発表。この中で東海第二原発の寿命40年を超えてプラス20年の運転期間延長申請をする計画を明言した。

東海第二原発を再稼働してはならない。その理由は7つ。

1. 地震対策がなっていない。
2. 沸騰水型・マークIIタイプの危険性
3. 致命的な欠陥・可燃性ケーブル
4. ベントは社会との約束違反
5. 首都圏まで110kmの至近距離
6. 30km圏内100万人の避難は不可能。
7. 最後は人の手に頼る事故対策

東海第二原発は機器故障発生頻度が全国一の原発である。周辺住民密度が日本一高いところの原発が、日本一トラブルの多い原発なのである。会社としての安全管理・機器保全能力のレベルが低いからなのか、それとも使っている機器がそもそも不良なのか、古いからなのか？いずれにしても延長申請されるべきものではない。

小川 仙月（おがわ せんげつ）さん

プロフィール

1964年生まれ。筑波大学卒。

1986年、チェルノブイリ原発事故の被害を知り、反原発運動にかかわるようになった。1990年にチェルノブイリ被害の現地、白ロシア（現ベラルーシ）を訪れる。白血病に冒された子ども達の姿を『白ロシアからの手紙』にまとめ、出版。日本の原発でも公衆被害をもたらす事故が起きる可能性がある」と訴え続けてきた。

福島原発事故以降、各地で原発の危険性を知ってもらう学習会を重ねている。2015年より脱原発ネットワーク茨城の共同代表。

ツイッター@ogawabfp 著書『白ロシアからの手紙』



“NO MORE CHERNOBYL”と訴える小川さん

「さようなら原発」あびこ

中央の「さようなら原発1000万人アクション」に応じ、我孫子で設立。中央の集会・デモにその都度参加。

2011年9月4日(日) さようなら原発我孫子市内デモ

2012年1月7日(土) 崎山比早子さん 講演会

1月20日(金) 「10万年後の安全」視聴

2013年1月6日(日) 上映会「第4の革命」

2015年3月8日(日) 上映会「日本と原発」

Kプロジェクトに10万円のカンパ

2017年3月1日(水) 「遺言～原発さえなければ」視聴

2017年6月25日(日) 上映会「日本と再生」

「3.11 甲状腺がん子ども基金」に12万円カンパ

2017年9月23日(土・祝) 小川仙月さん 講演会

講演会 会場案内

(我孫子駅北口下車 徒歩5分)

あびこ市民プラザ (ショッピングプラザ3F)

